

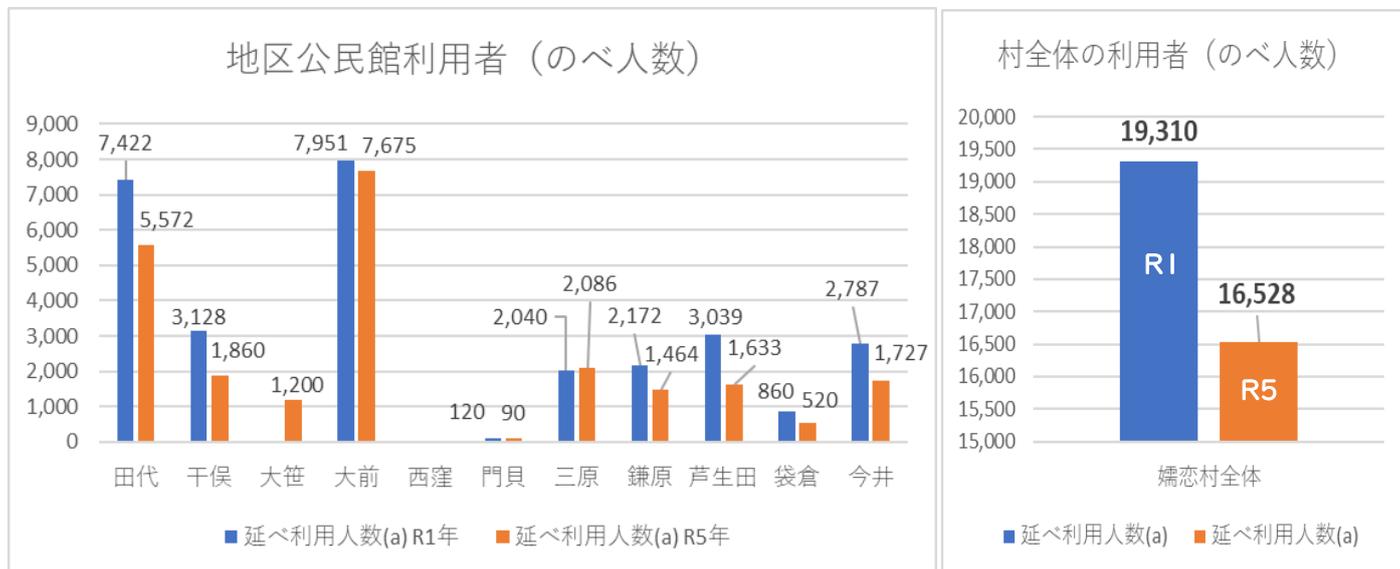
アンケート集計結果

1) 公民館の利用について

5年前に比べ公民館の利用者は

減った 8 地区（田代、干俣、大前、門貝、鎌原、芦生田、袋倉、今井）

増えた 1 地区（三原） 不明 2 地区（大笹、西窪）



2) 1の回答について考えられる理由を記載願います。（自由記述）

田代 コロナ

干俣 コロナ禍中に行事等が中止された事によりそれぞれの行事内容の見直しが有ったり、もしくは無くなったりしたものも一つの要因かと思われます。

大笹 新型コロナ感染拡大し、行事等も減り、昨年度は再開した物もあったが、5年前とは明らかに公民館使用、利用も減っている。

大前 コロナのため一時期利用が減ったが、だんだんと増えてきている。

西窪 （無回答）（使用簿等の記録を付けていないので利用人数が不明）

門貝 行事が減った

三原 令和元年度までは、少子高齢化や人口流出の影響により、各団体やイベントの参加者人数が減少している分自然減として少しずつ減少している傾向である。

令和2年度から令和4年度まではコロナの影響によりイベント数が減少している影響で利用者人数も半減している。

令和5年度については、コロナが5類移行したことを受けイベントも復活（敬老会を除く）し利用者人数も通常に戻ってきているが、少子高齢化と人口流出による影響から従来のイベントへの参加者は減少したものの、孺恋会館の閉鎖による利用者が増加したため若干の増となった。

サーラ孺恋が完成し通常の利用に戻れば、新たなイベントを開催しない限り令和元年度よりも減少すると見込まれる。

鎌原 コロナ禍による諸行事の取り止めや見直しによる

芦生田 新型コロナウイルス感染症による各種行事等の中止もしくは延期。

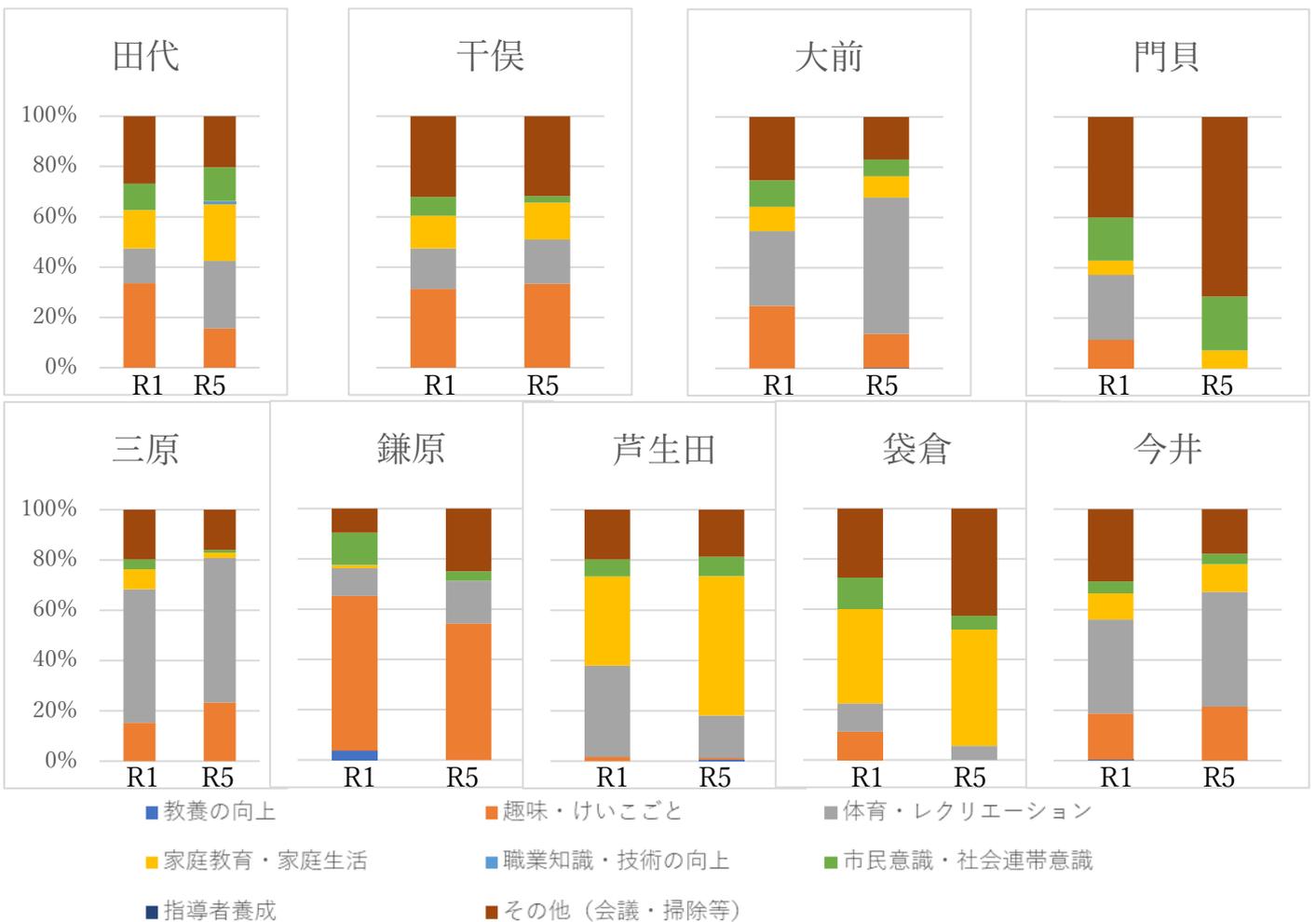
袋倉 区民祭、文化祭練習など コロナの影響。

今井 コロナで活動自滅

3) 現在公民館を利用している団体名を教えてください。

- 田代 婦人会、若妻会、老人会、民生委員、喜久順会、琴友会、琴舟会、ミニデイ、轟太鼓、にこにこ広場
 干俣 区役員、各伍長組、祭典、街路灯、スポーツ協会、婦人会、若妻会、老人会、安全協会、生産森林組合
 部分林組合、災害対策委員会、牧野組合、緑地利用組合、緑化推進委員会、幼小中学校地区員会
 JA福祉センター、琴星会、干俣ハーモニカクラブ、水土里の会、ヨガ、農友会、紅葉会、干俣牧場組合
 民生委員会、干俣獣害柵組合、加工組合
 大笹 大笹区評議員、老人会、婦人会、若妻会、フラダンス、ヨガ教室、消防団、獅子舞保存会、丸一団など
 ミニデイ（社会福祉）
 大前 にぎやかカフェ、すずらんの会、フラ・プルメリア、わっきゃない体操、大前ヨガクラブ
 西窪 区役員
 門貝 門貝区、老人会 その他
 三原 三原区、老人会、レクの会、スポーツ協会、ヨガ教室、食改推、婦人会、若妻会、テレビ組合、案協
 民生児童委員、牧野組合、小中学校地区委員（子ども会）、ハーモニカクラブ、パッチワークの会など
 鎌原 鎌原区、婦人会、若妻会、老人会（クラブ）、民舞（一乃会、一央会ほか）、フラダンス ほか
 芦生田 令和5年度利用団体は25団体。その内のベスト5
 わっきゃない教室35回 365人、ヨガ教室21回 104人、芦生田神輿會18回 251人
 芦生田茶路ん12回 226人、芦生田老人クラブ9回 94人
 令和元年度利用団体は35団体。その内のベスト5
 ヨガ教室63回 507人、わっきゃない教室35回 396人、芦生田老人クラブ19回 119人
 芦生田神輿會15回 284人、芦生田茶路ん11回 268人
 袋倉 ミニデイ、老人会、区、婦人会、体協、子ども会、各組清掃
 今井 老人会、いきいきサロン、竹の子ボランティアの会、婦人会、布遊会、小学校子ども会、若妻会、ヨガ

各地区 左：令和元年度 右：令和5年度



4) 地域コミュニティが希薄する中、地域公民館での生涯学習等が益々重要になると考えます。

これらを増やすにはどのような施策が必要と考えますか。

・区民の興味・関心の掘りおこし

趣味だけでなく、学習（大人の学びなおし など）にも対応していきたい。講師等の人材発掘、育成

・〇〇区の現状は「高齢者が多い」「若者が少ない」「子どもが少ない（幼小中学生で21人）」

「共働きの家庭が多い」「75歳くらいまでは仕事に就いている」などコミュニティ醸成におけるマイナス要素が大きく、何かをやろうとしてもそれが言い訳となり人（主催者及び参加者）が集まらない状況にある。お祭りでさえなくなろうとしている。

したがって、各地区公民館については、まず村全体の生涯学習サテライト施設という位置づけで、村で作成したカリキュラムを各地区公民館の協力を得て開催していき、各地区単独でできるものや各地区の区民が興味をそそるものを、各地区の公民館プログラムとして残して継続的に実施していくようにしないと、地区公民館で何かを考えてとなると、現状の〇〇区民の価値観からすると難しいものがあると思う。ただ、そのような価値観の中でも自らが興味を持てることは、中之条や前橋、上田市等まで行っている方もいるので、何か非日常的な体験ができるものなどを提供できればコミュニティ醸成の一助となるのかもしれない。例えば、陶芸、染色、科学教室、日曜大工教室、孀恋の歴史や浅間の歴史など専門かが教えてくれる場になれば。

- ・各種団体の発表会や展示会等の地域（地区）展開への企画や働きかけ各種講座、講演等の企画と地区展開。定期的な巡回図書館の実施 など
- ・孀恋村の第1の課題は、人口を増やす事と思います。誰も思う事だと思うが、ここからはじめる事が大事だと思います。本気になって全体で考える事を強く思います。